

さて、今回は一人旅のため、毎回ホテルに戻るときの方法を考えなければなりません。そこでバス会社に電話で問い合わせたところ、「車椅子で乗れるノンステップバスがない。」と言われました。（実際は、一部路線であったようですが・・・）仕方がないので、他の方法を探しました。ここは小さな島が沢山ある島国、船で帰る方法を考えました。電話で車椅子が乗れるかを問い合わせたところ、「可能です。」とのお返答を頂け、渡航の可能性が出てきました。その場所によって、船会社が違うので、電話をして確認しました。必要と思われる航路は、車椅子に完全対応ではないが、対応してくれるとの返事もらったので嬉しかったです。港の数が少ないので、尾道へ帰る航路を確認し、港がその日のゴール地点になるように決めました。

しかし、距離の問題で一日でアップダウンの多い距離を20～30kmを毎日走ることが出来るかどうか不安でした。でも、愛知県の知人（私と同じ脊椎損傷）の方からハンドサイクルを貸してもらえることになりました。

〈ハンドサイクルのメリット〉

- ・キャスターが上がり、大きなタイヤ3輪になり、スピードが出る。
（その分距離を稼げる）
- ・私なら着脱が5分程度。
- ・マラソン車椅子と違い、着脱が出来るので、コンビニ等入れる。
- ・小石や、溝などをあまり気にせずに走れる。（景色を楽しめる）
- ・珍しいので、注目度アップ。

〈ハンドサイクルのデメリット〉

- ・全長が長くなるので、狭い道が難しい。
- ・切り返しやターンが困難。
- ・上り坂が特に苦手。（重心が後ろになる。駆動輪が前なので空回りする）
- ・キャスターが上がる分背もたれも後ろに下がり、大幹バランスが悪くなる。



ハンドサイクルに乗っていざ出発！

最後にこの旅行は体調や天候のことを考え、6月8日（火）～12日（土）の5日間（走行期間は3～4日）で渡る予定を立てました。そして、雨が止んだときから梅雨に入るまでの晴れに恵まれ、初日から3日間で走ることが出来ました。

私にとっての一番の収穫は、旅行中に色々な人に出会い、会話し楽しい時間を過ごしたことです。また、しまなみ海道を渡る方法を色々と考え、それが計画通りに実行出来たことも収穫で、その快感はたまりませんでした。

自転車に乗って、ある程度、体を鍛えている方なら、「しまなみ海道」は1日で往復出来るそうです。私は3日間かかりましたが、同じ状態の人と比べても、もっと早く渡れる方は、いると思います。しかし、自分の普段出来る範囲にプラスαをすることで、少しですが成長出来たと思います。

車椅子を使用して「しまなみ海道」を渡る方法や体験談の前例があるかネット等で調べてみましたが、情報が見当たりませんでした。さらに、一人旅で計画を実行する前は不安でした。しかし、手助けや応援をして下さった方に支えられ、この旅行を成功させることができ、今改めて行く前の不安がウソのようです。また「しまなみ海道旅行」の話をしていた友人からサングラスをプレゼントして頂きとても嬉しかったです。

本当に「しまなみ海道3日間の旅」で出会った方、全ての人に感謝しています。
ありがとうございました。



瀬戸内しまなみ海道サイクリングマップ

次号は、「しまなみ海道3日間の旅」での詳しい内容、出会えた方々との触れ合い、美しい景色の写真をご紹介します。